

鉄道博物館でロボットがお出迎え

—三菱総研DCSが人型ロボット「NAO」を設置します—

三菱総研DCS株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:円実 稔、以下「DCS」)は、日本サード・パーティ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:森 豊、以下「JTP」)と共同で、鉄道博物館(運営:公益財団法人東日本鉄道文化財団)に期間限定で人型ロボット「NAO」を設置いたします。

是非この機会に、音声認識やAIなど先端技術をご体験ください。

1.設置する人型ロボット「NAO」について

NAOは、ソフトバンクロボティクスヨーロッパが開発した製品です。DCSが独自に研究・開発した Q&A エンジンを活用することで、NAOが日本語・英語・中国語・スペイン語の4か国語で質問や話しかけに応答します。

- ・今回の設置は、DCS・JTPが独自に実施するものです。
- ・NAOのコントロールは、DCSが、アマゾンウェブサービスのクラウドサービス「AWS」上に独自に構築したロボットコントロールサービスを通じて行います。

2.鉄道博物館での設置について

(1)期間

9月14日(水)～9月26日(月)の平日6日間 [土・日・祝、休館日(火)を除く]

(2)場所

鉄道博物館(所在地:埼玉県さいたま市大宮区大成町 3-47 <http://www.railway-museum.jp/>)

3.鉄道博物館について

鉄道博物館は、東日本旅客鉄道株式会社(JR 東日本)創立 20 周年記念事業のメインプロジェクトとして 2007 年 10 月 14 日埼玉県さいたま市に開館されました。敷地面積は 46,800m²、保存車両は 38 両、収蔵資料は約 67 万点です。

同館のコンセプトは次の通りです。

- ・「鉄道博物館」… 日本および世界の鉄道に関わる遺産・資料に加え、国鉄改革や JR 東日本に関する資料を体系的に保存・調査研究する
- ・「歴史博物館」… 鉄道システムの変遷を車両等の実物展示を柱に時代背景等を交えながら産業史として物語る
- ・「教育博物館」… 鉄道の原理・しくみと最新技術を子供たちが施設等を活用しながら体験的に学習する

現在、2018 年夏の「新館の建設及び本館の全面リニューアルオープン」を目指して、さまざまな取り組みが進められています。

■お問い合わせ

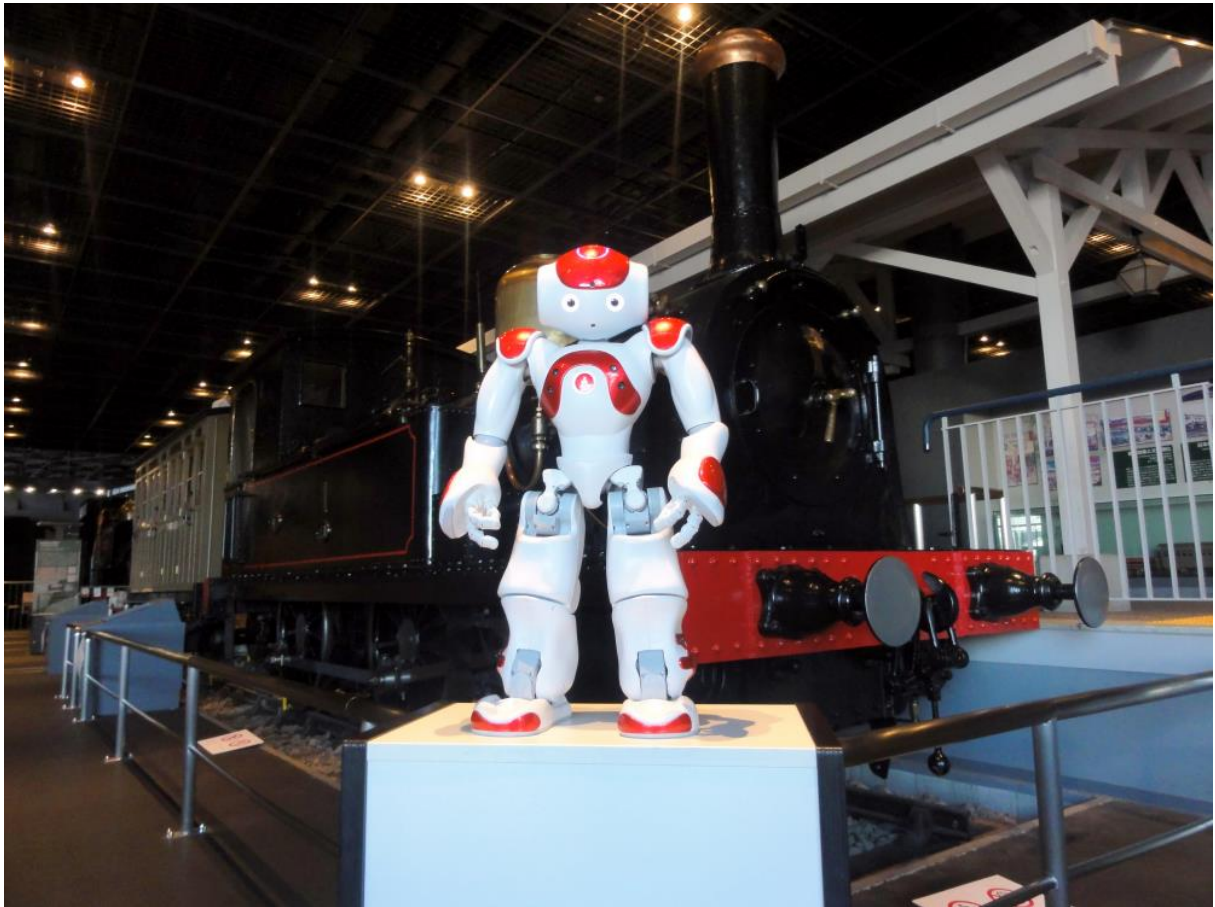
三菱総研DCS株式会社 〒140-8506 東京都品川区東品川四丁目 12 番 2 号

・人型ロボット「NAO」に関して 事業推進企画部 新規ビジネス事業室 TEL: 03-3458-9739

・当リリースに関して 総合企画部 広報担当 TEL: 03-3458-8214

【資料】

★ 人型ロボット NAO



※写真は NAO のイメージです。